

準 則 計 算

(例2)

会社工場名	(株) (工場)					
設置場所	〒 () 団地特例 有 無					
担当者	代表業種名					
細分類番号	P ₁ =3113	P ₂ =	P ₃ =			
P _{0i}	4,100					
γ _i	0.4					兼業の場合P ₁ 、P ₂ ……と分けて記載する。
α _i	1.2					
現在の状況	増設可能敷地面積	(計算式) 29,000 - $\frac{4,100}{0.4 \times 1.2} = 20,458$			G ₀	2,100
	20,458				E ₀	3,900

整理番号	業種	生産施設面積		当該G設置	G ₁	当該E設置	E ₁	備考
		当該変更面積	変更後面積	(G ₀)	(次回G ₀)	(E ₀)	(次回E ₀)	
51 佐第5号								
51.7.20	P ₁	△ 1,000 + 3,000	6,100	2,100	4,200	2,100	6,000	
29,000				(1,143)	(3,243)	(1,233)	(5,133)	
兼業の場合は以下のように記載する。								
	P ₁	2,000	6,000					
	P ₂	△ 500	1,500					
	P ₃	0	1,000					

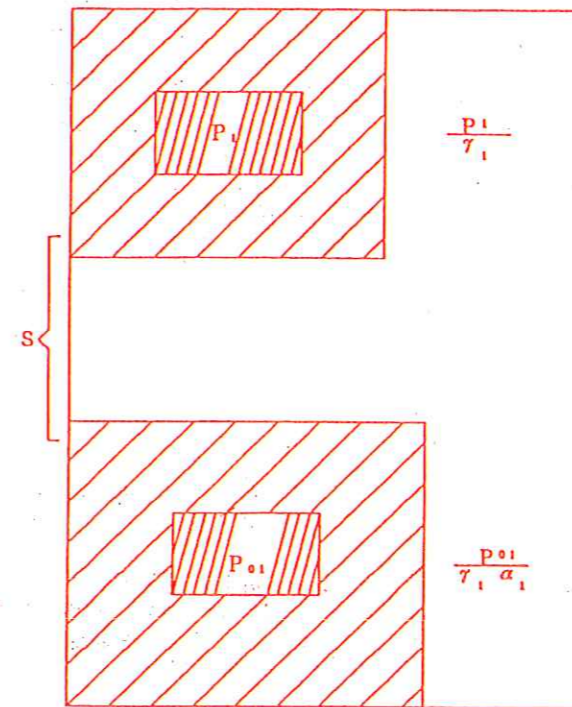
備考 当該G (E) 設置……当該変更に伴い設置される緑地 (環境施設) の面積 (G₀) {(E₀)} ……当該生産施設の面積の変更に伴い設置される緑地面積 (環境施設面積) のうち当該生産施設の面積の変更に伴い最低限設置することが必要な緑地 (環境施設) の面積を超える面積

推 移 表

整理番号	業種	生産施設面積		当該G設置	G ₁	当該E設置	E ₁	備考
		当該変更面積	変更後面積	(G ₀)	(次回G ₀)	(E ₀)	(次回E ₀)	

- ① G₀、E₀……新設工場であれば (該当なし) と記載する。
(G₀) (次回G₀) (E₀) (次回E₀) ……既存工場で既に20%、25%以上あれば記載不要。

② 「現在の状況」 増設可能敷地面積の計算について



増設可能敷地面積は、全敷地面積から各生産施設が使用しているとみなされる敷地面積を差し引いた面積です。(白地)

みなし面積

$\frac{P_1}{\gamma_1}$ ……S.49.6.29 以後新增設 (廃棄) 分

$\frac{P_{01}}{\gamma_1 \alpha_1}$ ……既存施設部分

$$S - \left(\frac{P_{01}}{\gamma_1 \alpha_1} + \frac{P_1}{\gamma_1} + \frac{P_1}{\gamma_1} + \dots \right)$$

※ 今回計画分は含まない。

G₁ (E₁) ……当該変更後に設置されている緑地 (環境施設) の面積の合計
次回G₀ (次回E₀)

……当該変更後に設置されている緑地 (環境施設) (当該届出前に届けられた緑地 (環境施設) の面積の変更に係るものを含む) の面積の合計のうち昭和49年6月29日以後の当該変更を含む生産施設の面積の変更に伴い最低限設置することが必要な緑地 (環境施設) の面積の合計を超える面積

備考……期間短縮等について記入